

# 山内

# 支えあいたい通信

第2号(平成31年4月1日) 発行／さんない生活支えあいたい(山内地域第2層協議体)

みんなで支えあい、いきいきと暮らせる地域づくりに向けて、山内地域では「さんない生活支えあいたい」が活動しています。

「支えあいたい」の活動は、①支えあい活動の情報を収集し、広めること、②地域の困りごとを知り、解決方法を考えること、③みんなで支える・支えられる地域づくりを進めること、です。

平成30年度の「支えあいたい」の取り組みをお知らせします。



## 平成30年度の「さんない生活支えあいたい」の活動状況

- ①毎月1回、構成メンバーが集まり、話し合いを行いました。
- ②地域外に出かけて、支えあいの取り組みを視察・勉強しました。  
(7月に羽後町の「お互いさまスーパー仙道てんぼ」を訪問しました。)
- ③構成メンバーが「小ネットワーク会議」に参加して、各地区固有の課題や支えあいの取り組みを情報収集しました。
- ④各地区に出向いて、横手市の「デマンド交通」に関する情報提供を行い、地域の「移動手段」について考える機会を持ちました。(4か所で開催)

このほか、構成メンバーの都合に合わせて、地域支えあいの市民集会や情報交換会などに参加して、市内外で行われている支えあいの取り組みを勉強しています。

## 平成31年度の活動に向けて

平成30年度は、地域の困りごとのひとつである「移動手段」について、地域の中で考えるきっかけにしようと、横手市が平成25年度から運行している「デマンド交通」に関しての情報提供(勉強会)を各地区で行ってきました。

平成31年度も、移動手段の選択肢のひとつとしてデマンド交通を紹介しながら、通院や買い物などの際の移動手段について、地域の皆さんと意見を交わす取り組みを続けていきたいと考えています。

また、ゆうらく館で長年開催してきたミニデイサービス事業が平成30年度で終了したことから、新たな「集いの場(居場所)」づくりについても考えていきます。地区の会館や隣近所などの近い範囲での“居場所”だけでなく、もう少し広い範囲や横のつながりも持てるような集いの場を、どのようにつくっていったらよいか、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



## 平成30年度の取り組みから

各地区に出向いて、横手市公共交通活性化協議会（事務局：市役所経営企画課）の方を講師に、横手デマンド交通の情報提供を行いました。

各会場でデマンド交通の利用方法や他の交通機関を利用した場合との料金比較などを説明しました。

### 横手デマンド交通

事前に予約すれば、日中（7時～18時）どなたでも横手市の全域で利用できるタクシーを使った交通手段で、多くの場合、通常のタクシーよりもお得に移動することができます。

## 9月7日 筏地区（サロン筏）

利用料金の比較では、筏分館から平鹿総合病院、横手病院、よねや南店までの料金を試算。平鹿総合病院と横手病院では、1人から3人乗車まではデマンド交通の方が通常のタクシーより安くなることや、よねや南店へは4人乗車でもデマンド交通の方が安く利用できることが説明されました。



地区内にデマンド交通を利用したことのある方が何人かいるとのことで、便利さと不便さの両方について具体的な話題や意見が出されました。料金面だけでなく“ドアツードア（※）”の便利さや、旧市内（中心部バスゾーン）で乗り降りする場合の料金体系、帰宅のためデマンドタクシーの予約の仕方など、具体的な話題に発展し、利用したことのない方の関心も高まったようです。

※ドアツードア：出発地（自宅など）の戸口から目的地の戸口まで直接移動できること

## 2月12日 黒沢地区

黒沢会館から平鹿総合病院、横手病院、よねや南店までの料金比較では、どの場所も1人乗車、複数乗車のいずれの試算でもデマンド交通の方が通常のタクシーより安いという結果でした。また、黒沢駅から鉄道とバスを乗り継ぐ場合、運賃だけで見るとかなり割高ですが、駅まで遠い方は「黒沢駅や相野々駅までデマンド交通を利用する方法もある」と説明されました。



黒沢地区でも、参加者の中にデマンド交通の利用経験者がおられて、どのような時にデマンドタクシーを利用するかや「旧市内に乗り入れする場合の料金がわかりにくい」など具体的なお話を聞くことができました。また、黒沢地区のように中心部から一定の距離のある地区では、山内地域内でのデマンド交通利用にも利点があることも確認することができ、市の担当者も「地域内や近距離だからと遠慮せず、デマンド交通を利用してほしい」と話していました。

## 公共交通の情報提供（勉強会）を開催してみませんか。

山内地域の移動手段の確保の面では、各地区で条件の違いがありますので、平成31年度も地域の皆さんと「公共交通」について考えていきたいと思っております。

移動手段に困っている方の多少にかかわらず、「移動手段デマンド交通の話を知りたい」「要望がある」という地区や団体などがありましたら、ぜひご連絡ください。

### 連絡先

さんない生活  
支えあいたい  
事務局  
(山内福祉センター)  
☎ 53-3009  
または  
山内地域局  
市民サービス課  
☎ 53-2933